

山下奉文大将

と私

在東大阪 丁野 隆景

政、財、官界その他何れも若手将校から多大の信
の社会にも必ずといってよ
程それぞれ派閥のあるこ
とと読者も承知の通りで
あるが、陸軍とて同じこ
とで、当時皇道派と、それ
に對抗する派閥があったこ
とと誰れ知らぬものはない
ことであり、山下将軍が佐
官時代から何れに属してい
たかそれは今触れぬことに
する。ただ将軍が先輩から

書道に托す 憂慨

大杉に因んで「巨杉」と号す

空を想しながらかも奥さん
と共比較的呑気な月日だ
と想像される。
越えて二十二年七月、北
郊外で盛岡事件が勃発、
このさきい出来ごとがや
がて支那事変となり、大東
軍と共北支那防衛司令官
に転じた。将軍とき五十
であるが、時の朝鮮軍司令
官林銑十郎大将（後陸相、
司令官杉山元大将（後元

生涯の思い出に

婚姻届受理証明書

交付をうけておきましょう

結婚のシーズンです。
結婚の日を定めて、
希望に胸をふくらませてお
られる方も多いことと思
います。
ところで、この意義深い
人生の門出を祝い、その思
い出をいつまでも持ちつづ
けて、円満な家庭を維持し
ていくために、結婚の記念
として「婚姻届受理証明
書」の交付を受けられては
いかがでしょうか。この
「婚姻届受理証明書」は結
婚というお祝いの行事にあ
さわしく、桐の紋章を上部
中央に配し中国の伝説とし
て伝えられる鳳凰という鳥
の図柄で周囲をふどった
豪華なもので、婚姻届を受
取った市町村長が、日本政
府の戸籍事務官署という
資格で証明するようになっ
ております。ご承知のよう

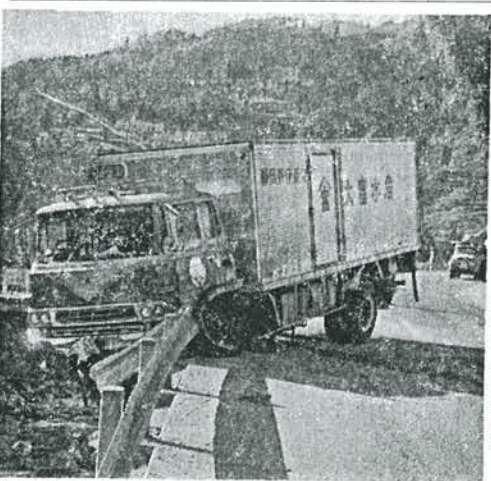
事故の原因を深慮せよ

西峰 邦男

事故ゼロの日、その日も
交通事故からはまぬがね
であった。今日も、明日も
そして次の日も交通事故は
続出する。その交通事故の
中で、ある者は死に、家族
はそれを見て嘆き、ある者
はかたわになり、無力にな
った自分を嘆く。そんな人
め、交通事故は、ほんとい

交通安全

交通安全とは、いかに
なればならない。だから、近
代社会では、車の生産量を増
加すると共に、事故減少の
ための事業をもっと実行し
なければならぬ。



一杯の酒が凶器になる

（大杉下にて撮す）

原因があるが、例えば、酒
よい運転をする者ならば、
その人はただ酒を飲みたい
という欲望に包まれてしま
い、車を運転しなければな
らないという義務などは脳
裏から抜け去ってしまった
化してしまふ。しかし大人
には大人の酒がかけせぬ
毎日の習慣になっている。
つまり飲酒運転の原因は酒
にあるといえる。又、無免
許運転者達は、おそろしく
大部分が未熟な者達であ
う。その原因は、彼らの車
へのあこがれからかと思
う。このように交通事故の
原因は、一つは事故減少の
ための事業の少ないことと
共に、私達の毎日の生活と
深い関連を持っている。だ
から交通事故減少の対策と
して、まず、事業の増加で

受験生のため サービス列車

大阪地区へ、A、Bの2
コース合計5コースで各
コースとも接続のよい便利
な列車を選んでいます。期
間は2月12日から3月
1日までです。
詳細はよりのお国鉄駅へ

